

令和4年7月10日
今週のベストショット



奈多グラウンド 奈多フェニックス 対 奈多サンデーズ

力強いスイングでセンターへー直線の3ランを放ったフェニックス一番望月選手。

写真：三苦フレンズ 肥喜里 一征

青松園A ドرامアは最終回2アウトから・・・

塩浜ジャガーズ(2勝2敗1分) 000101 2 立石●ー猪野
三苦三球会 (3勝1敗) 000003X 3 鮎川○ー蓑原

3BH：藤澤(康)(三球会) 2BH：藤澤(隆)(三球会)、立石、佐藤(塩浜ジ)

初回、塩浜ジャガーズの立石投手、三苦三球会の鮎川投手共に三人で抑える完璧な立ち上がり。その後も両投手三回まで0が並ぶ好投を見せる。試合が動いたのは四回表、一死一塁から四番の立石投手が右中間へのタイムリーヒットで好投の鮎川投手から待望の1点を奪う。さらに塩浜ジャガーズは六回表、二死から立石投手がセンター前ヒット。その後、猪野選手が続き二死一二塁。続く佐藤選手が右中間へのエンタイトル2ベースで1点を追加。鮎川投手は続く山口選手をセンターフライに打ち取り最小失点に抑える。その裏三苦三球会の攻撃は、先頭の濱口選手が見逃し三振、藤澤(隆)選手がセカンドゴロに倒れ、2アウト。続く鮎川投手がサードフライを打ち上げ、このまま試合終了と思われたが、この打球を塩浜ジャガーズ三塁手藤井選手が痛恨の落球。二死二塁で望月選手がレフト前へのタイムリーヒットを放ち1点差に追いつく。さらに堺選手が四球を選び二死一二塁。続く蓑原選手の場面で代打藤澤(康)選手。ここで藤澤(康)選手が期待に応え左中間を抜ける3ベースヒットを放ち劇的なサヨナラでゲームセット。塩浜ジャガーズは勝利目前での失点で悔しい敗戦となった。

(記事：新町ウインズ 山口 貴士、写真：大久保 浩)



技巧派投手三球会先発の鮎川投手。



初回三奪三振のジャガーズ立石投手。



アウト？セーフ？



追加点でジャガーズの勝利に見えたが・・・。



この試合投打で活躍 立石投手。



サヨナラのホームへ爆走。



劇的なサヨナラ打を放った 三球会秘密兵器藤澤選手。

青松園B ライナーズ快勝！！

ブルーマーリンズ（1勝4敗）00100 1 中山●ー井上

雁の巣ライナーズ（2勝3敗）12430 10 柴田○ー明瀬

HR：上村、宇野（雁の巣） 2BH：松蘭選手（ブルー） 盗塁：今林2、明瀬、上村（雁の巣）

雁の巣ライナーズ柴田投手は初回から上々の立ち上がりでブルーマーリンズ打線を抑える。一回裏ライナーズは、今林選手がヒットから盗塁でチャンスを演出すると、明瀬選手がしっかりとタイムリーヒットで先制する。二回裏ライナーズは、上村選手の2ランHRでさらに2点追加。三回表、反撃したいブルーマーリンズは、ランナー二三塁のチャンスで児玉選手がしぶとく内野安打で1点を返す。四、五回裏でライナーズは大量得点の7点を追加しブルーマーリンズを突き放す。最終五回は両チーム無得点でそのまま試合終了となった。（記事・写真:和白新町パイレーツ 中島 孝志）



雁の巣ライナーズ柴田投手。



ブルーマーリンズ中山投手。



二塁打を放つブルーマーリンズ松蘭選手。



ホームランを放つ上村選手。



活躍の柴田投手（左）と松蘭選手（左）。

奈多グラウンド 三回に特大HRを含む6安打7得点を叩き出したフェニックス快勝！！

奈多フェニックス (3勝1敗) 0 3 7 1 0 1 1 太田○ー実延

奈多サンデーズ (3勝1敗1分) 0 0 5 3 0 8 塚本●、古賀(風)ー柴田

HR: 望月(奈多フ) 野々下(奈多サ) 2BH: 宮口、古賀(奈多サ) 盗塁: 望月(奈多フ)

奈多フェニックスは一回表、先頭打者の望月選手が内野安打を打ち出塁すると三番能丸選手が四球を選び一死二三塁のチャンスをつかむが、後続は塚本投手の前に三振とピッチャーゴロに倒れ無得点。その裏、奈多サンデーズも三番砂場選手がヒットで出塁し、続く四番野々下選手があわやHRかと思われる右翼駐車場迄まで届く大飛球を放つが、ファウルを宣告されこの回無得点に終わる。試合が動いたのは二回表の奈多フェニックスの攻撃。簡単に二死を奪われるものの八番今林(誠)選手と九番太田選手が連続ヒットで出塁すると、そこから相手失策、四球、WPなどで3点を先制した。この試合最も打線が爆発したのは続く三回表の奈多フェニックス。五番沖選手がいきなりヒットで出塁すると。続く六番、七番も出塁し無死満塁としピッチャーゴロの間に1点を追加。さらにもっとも大きかったのは一番望月選手のセンター奥に消える特大の3ラン。勢いは止まらず後続も失策や四球で出塁し、四～六番の連続タイムリーなどこの一回一挙7点を奪った。10点差をつけられた奈多サンデーズも簡単には終わらせない。三回裏の攻撃、先頭の九番古賀(開)選手が二塁打で出塁すると二番宮口選手のタイムリー2ベースで1点を返した。続く砂場選手が四球を選び一死一二塁の場面。先ほど特大ファウルを放った野々下選手が打席に。同じ間違いはしないと今度はフェアゾーンへの打球で駐車場を更に超える完ぺきな3ランが飛び出した。10点差でコールド負けもちらついた奈多サンデーズだが、この回5点を返し必至に食らいつく。逆転を目指し、四回表から塚本投手から古賀(風)投手にスイッチ。しかし、先頭打者に四球を許すと、そのランナーがホームに帰って1点を献上してしまった。奈多サンデーズは四回裏の攻撃でも先頭の佐護選手が四球で出塁し、二～四番までの連続安打や犠牲フライで3点を返すなど粘りを見せるが、奈多フェニックスの大量得点の前に力尽きた。初回の野々下選手の大飛球がもうちょっと内側に入りHRになっていたら流れは違ったものになっていたかもしれない。只々、駐車場には車のライトを破壊された跡がくっきり残っており、とても大きな打球だったことを物語っていた。

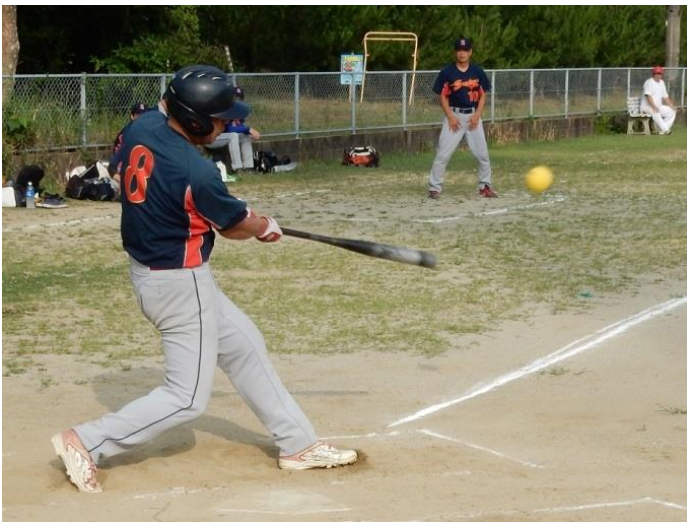
(記事・写真: 三苦フレンズ 肥喜里 一征)



完投勝利を挙げた奈多フェニックス太田投手。



二回表チャンスを広げるヒットを放った太田選手。



二回裏、先頭打者として左前打を放った八島選手。



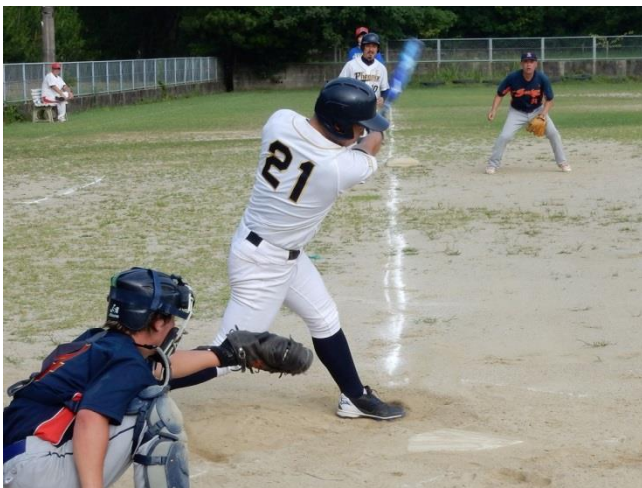
三回表攻撃の口火を切る中前打を放った沖選手。



三回表、果敢にバントを試みる実延（彰）選手。



一塁ゴロの間にホームを奪う実延（新）選手。



センターオーバーの特大の3ランを放った望月選手。



望月選手の3ランで盛り上がるフェニックスベンチ。



三回裏、駐車場を超える特大の3ランを放った野々下選手。



どうだ！とばかりに二度目は完璧に捉えた野々下選手。



レフト失策から一気にホームまで駆け抜けた柴田選手。



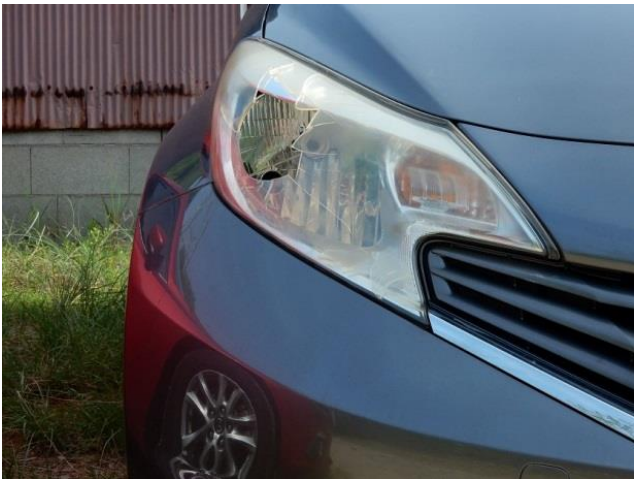
四回裏、ヒットを放つ宮口選手。



四回裏、満塁で代打。初球をタイムリー野崎選手。



この日4打点目となるタイムリーを放った野々下選手。



くっきりと場外大ファウルの痕跡の後。



本日のヒーロー太田投手と望月選手。

